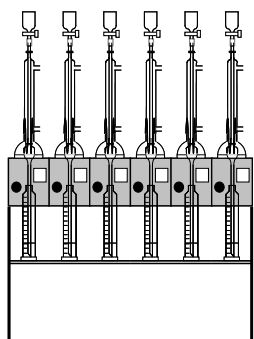


# ふっ素、シアン、フェノール、アンモニア用 小型蒸留装置 DS-5100



## 大型の蒸留器 をお持ちの方いらっしゃいませんか？

現在このような事でお困りではないですか？

- 数百mLの液体を沸騰させる様な危険な作業を減らしたい
- 実験室内のスペースを有効活用したい
- 蒸留中に有毒なガスが発生する可能性がある為、ドラフト内に設置したい
- 固体を含めた試料に対して、従来の分析原理を適用したい.....etc

2019年3月20日(水)にJIS K 0102 工場排水試験方法が改正され、2019年度版が日本規格協会から発行されました。この改正で小型蒸留装置がJIS K0102:2019に採用されました。

**JIS K0102 28.1 フェノール類**

**JIS K0102 38.1.2 全シアン**

**JIS K0102 34. ふっ素化合物**

**JIS K0102 42. アンモニウムイオン**

### 特長

- 熱源がアルミブロックヒーターにより消費電力が少い。
- 小型により設置スペースも小さい。
- ガラス器具も小さく扱いやすい。
- 試料量も少なく、留出液の定容量も少ない。
- 希釈倍率は従来と変わらないもしくは従来よりも低い。  
(試料量と留出液の定容量から計算される)

**大型の蒸留装置と同じ原理でこんなにコンパクト!**

蒸留の作業時間 試薬の廃液量 設置スペース

約1/2~1/3

約1/7

約1/5



お客様への貸出も無料で行ってます。

**日東精工アナリテック株式会社**